

平成 26 年度
発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上事業
(発達障害理解推進拠点事業)
成果報告書 (概要版)

実施機関名 (日野市教育委員会)

1. テーマ

通常学級での特別支援教育のスタンダード
ーユニバーサルデザイン授業の組み立て方ー

2. 問題意識・提案背景

全ての通常の学級で、全ての教師が発達障害への理解を深め、適切な対応を行うことができるようにするという目的をもって取り組み、一定の成果を収めることはできた。しかし、新たな問題も明確になってきた。発達障害のある児童・生徒の学校や授業への前向きな参加が促進されるようになっていく一方で、授業内容を十分に理解させることが達成できているのかという疑問である。これまでの「教科教育」の研究実践の中での蓄積のみでは、発達障害のある児童・生徒の授業理解を支える指導法としては十分でないという感慨、あるいは疑問が現場の中から生まれてきたのである。そこで本市の「平成 24 年度特別支援教育推進委員会」の提言として、更に一步進めた「授業のユニバーサルデザイン」に市を挙げて取り組むことが示された。

3. 拠点校について

○ 拠点校一覧

設置者	学校名 (ふりがなを付すこと)
日野市教育委員会	ひのしりつひのだいさんしょうがっこう 日野市立日野第三小学校
日野市教育委員会	ひのしりつひのだいさんちゅうがっこう 日野市立日野第三中学校

○ 理解推進地域内の学校一覧

設置者	学校名 (ふりがなを付すこと)
日野市教育委員会	ひのしりつひのだいいちしょうがっこう 日野市立日野第一小学校
日野市教育委員会	ひのしりつひのだいにしょうがっこう 日野市立日野第二小学校
日野市教育委員会	ひのしりつひのだいにしょうがっこう 日野市立日野第四小学校
日野市教育委員会	ひのしりつひのだいにしょうがっこう 日野市立日野第五小学校
日野市教育委員会	ひのしりつひのだいろくしょうがっこう 日野市立日野第六小学校

日野市教育委員会	ひのしりつじゅんとくしょうがっこう 日野市立潤徳小学校
日野市教育委員会	ひのしりつひらやましょうがっこう 日野市立平山小学校
日野市教育委員会	ひのしりつひのだいほちしょうがっこう 日野市立日野第八小学校
日野市教育委員会	ひのしりつたまあいしょうがっこう 日野市立滝合小学校
日野市教育委員会	ひのしりつひのだいなしょうがっこう 日野市立日野第七小学校
日野市教育委員会	ひのしりつみなみだいらしょうがっこう 日野市立南平小学校
日野市教育委員会	ひのしりつあさひのおかしょうがっこう 日野市立旭が丘小学校
日野市教育委員会	ひのしりつとうこうじしょうがっこう 日野市立東光寺小学校
日野市教育委員会	ひのしりつなかだしょうがっこう 日野市立仲田小学校
日野市教育委員会	ひのしりつゆめのおかしょうがっこう 日野市立夢が丘小学校
日野市教育委員会	ひのしりつななのおみどりしょうがっこう 日野市立七生緑小学校
日野市教育委員会	ひのしりつひのだいいちゅうがっこう 日野市立日野第一中学校
日野市教育委員会	ひのしりつひのだいにちゅうがっこう 日野市立日野第二中学校
日野市教育委員会	ひのしりつななのおちゅうがっこう 日野市立七生中学校
日野市教育委員会	ひのしりつひのだいよんちゅうがっこう 日野市立日野第四中学校
日野市教育委員会	ひのしりつみさのおちゅうがっこう 日野市立三沢中学校
日野市教育委員会	ひのしりつおおさかうえちゅうがっこう 日野市立大坂上中学校
日野市教育委員会	ひのしりつひらやまちゅうがっこう 日野市立平山中学校

4. 拠点校における取組概要

<p>日野第三小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国語科文学の読みにおけるユニバーサルデザイン授業の追究」の実践的研究を通して教員の専門性を高める。(毎学期、全教員が公開授業を行うとともに、年間8回の研究授業を行う) ・通常の学級担任と特別支援学級(固定)担任と通級指導学級の担任がともに研修することを通して、子供のつまづきを理解し、その対処法や指導の工夫を高める。(文学的文章の教材研究から評価までを共同で行う) ・通級指導学級では補充指導の方法について実践的研究を進め専門性の幅を広げる。 ・読み書き、計算に学びにくさをもった子供の具体的な指導方法を研修する。 ・保護者向けの理解啓発のための講演会を行う。 ・平成27年2月に研究発表会を行う。 <p>日野第三中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ユニバーサルデザインの視点をもって生徒をたくましく育てる教育活動」の実践的研究を通して教員の専門性を高める。(年間6回の研究授業と協議会) ・教科を越え全教員がチームを組んでユニバーサルの視点のある授業研究を行うことを通して、生徒のつまづきを理解し、その対処法や指導の工夫を高める。

- ・通級指導学級では補充指導の方法を実践的研究を進め専門性の幅を広げる。
- ・学びにくさをもった生徒の具体的な指導方法の研修を個別の支援室(リソースルーム)や放課後補習教室での指導と連携して進める。
- ・保護者向けの理解啓発のための講演会を行う。
- ・平成26年11月に研究発表会を行う。

5. 主な成果

2つの拠点校において、授業のユニバーサルデザインの市内のモデル化を推進した。拠点校では全教員による研究授業、講師を招いての協議会を開き、発達障害のある子の特性の理解と、授業改善に向けての具体的方法論について検討し、発信した。

本市小中学校では、同様の形態での研修を小学校で12校、中学校は全校の8校で2年目の研究として研究授業を実施した。その結果、「すべての教員」が特別支援教育の視点がある授業改善に目を向け、その意義の理解が一層進んだ。

教育委員会は、「教員の専門性向上委員会」を組織し、各校での研修会の設定と講師手配と計画づくりを推進した。「教員の専門性向上委員会」は各校でのユニバーサル化された授業実践を集め「授業のユニバーサルデザイン実践事例集」としてまとめられた。

授業変革も研究のまとめも、今後引き続き取り組むことによって定着を図る。拠点校日野第三小学校、日野第三中学校の取り組み、障害の有無に関わらず一人一人に配慮した「授業のユニバーサルデザイン」を広げるために、2年間で25校全校展開による研究授業の取り組みを専門家の招聘をして行うことができた。そこでは、発達障害のある児童・生徒のつまずきに注目し目標達成のために山場から授業を考え課題解決の手法を使う指導案を作成して、研究授業に取り組んだ。研究授業では、全体の授業の工夫の成果や課題、個別の配慮の効果と課題等、視点を決めて参観した。研究協議会ではその成果を問う話合いと発達障害のある児童生徒の理解を深める研修を行った。ユニバーサルデザインの実践教育、中学校においては、「教科担任制」を越えて、特別支援教育の視点から授業改善を行うということを共有し、少なからず授業の改善に資する成果を得た。

また拠点校でのそれぞれの研究発表会には、日野市立日野第三小学校では650名の参加者、日野市立日野第三中学校には300名の参加者を数え、全国にその成果を発信することができた。

4月初めには全校で行った「ユニバーサルデザインの授業」の研究成果をひのスタンダードセカンドステージ完成版としてまとめ、市内外に発信する。

6. 今後の課題と対応

授業のユニバーサルデザイン化をさらに定着させることが課題である。

また授業の三段構えの考え方，すなわち授業そのものの工夫と同時に授業内と授業外の個別の支援による三段構えで 100 パーセントを目指す考え方を深める必要がある。特に十分とは言えない授業外の補充指導のあり方を追究する必要がある。

26 年度作成した「授業のユニバーサルデザイン実践事例集」を活用し，今後引き続き取り組むことによって授業変革も研究のまとめも，定着を図る。

7. 問い合わせ先

組織名：

- | | |
|-------------|-----------------------|
| (1) 担当部署 | 日野市教育委員会 |
| (2) 所在地 | 日野市神明 1-12-1 |
| (3) 電話番号 | 042-585-1111 |
| (4) FAX 番号 | 042-583-9684 |
| (5) メールアドレス | sidou@city.hino.lg.jp |